

System i システム稼動状況分析

PM for System i メニュー・ガイド

2007 年 7 月版

## - 目次 -

注) 当ガイド内では、OS バージョン V5R2 の表示画面を使用しております。  
OS バージョンによってはメニュー内の表現が異なる場合がありますが、機能は同じです。

(はじめに) メニューの表示	1
1. 連絡先情報の処理	2
2. 自動スケジュール済みジョブの処理	3
3. PM/400 カスタマイズの処理	4
4. 上位 10 個からの除外処理	5
5. リモート ISERIES システムの処理	6
6. PM/400 状況の表示	7
7. PM/400 の特記事項の表示	8

PM for System i のセットアップにつきましては、別冊「PM for System i セットアップ・ガイド」をご参照ください。

## (はじめに) メニューの表示

コマンド行に、GO PM400と打鍵・実行キーを押しますと、メニューが表示されます。

次の1つを選択してください。

システム :

### コマンド

1. 連絡先情報の処理
2. 自動スケジュール済みジョブの処理
3. PM/400 カスタマイズの処理
4. 上位 10 個からの除外処理
5. リモート ISERIES システムの処理
6. PM/400 状況の表示
7. PM/400 の特記事項の表示

## 1. 連絡先情報の処理

メニューの 1. を選択しますと、お客様情報の変更画面が表示されます。

連絡先情報の処理

変更を入力して、実行キーを押してください。

会社名 . . . . .

連絡先 . . . . .

電話番号 :

主 . . . . .

代替 . . . . .

FAX. . . . .

郵便宛先住所 :

住所 . . . . .

市区町村 . . . . .

都道府県 . . . . .

国 / 領域 . . . . .

郵便番号 . . . . .

E メール・アドレス . . . . .

報告書を受け取る各国語バージョン . . . . .

コマンド WRKCNTINF の「2. 保守情報の処理」⇒「1. 保守要求連絡先情報の表示」画面の情報を取り込むため、既にお客様情報が入力されている場合があります。変更がございましたら、当画面からお願いいたします。

また email アドレス欄は、Web でレポートを閲覧する際、パスワードをお忘れになった場合に必要となりますのでご入力ください。英小文字が入力できない場合は、英大文字で結構です。

「報告書を受け取る各国語バージョン」欄は、レポートを表示するのに使用される言語を指定します。日本語表示をご希望の場合は 2962 を、その他の言語表示をご希望の場合は F4 キーを押して選択します。

## 2. 自動スケジュール済みジョブの処理

メニューの 2. を選択しますと、稼動ジョブの一覧画面が表示されます。

名前	状況	次の実行日付	次の実行時刻	実行期限
Q1PTEST				
Q1PCM1				
Q1PMONTH				
Q1PCM2				
Q1PPMSUB				
Q1PPMCHK				
Q1PDR				
Q1PPG				
Q1PCM4				

実行日時の変更を行なう場合は、変更したいジョブの OPT 欄に”2”を入力します。

「状況」欄は A=Active(活動状態)、I=Inactive(非活動状態)を表し、「実行期限」欄は当該ジョブが実行された回数を示しています。

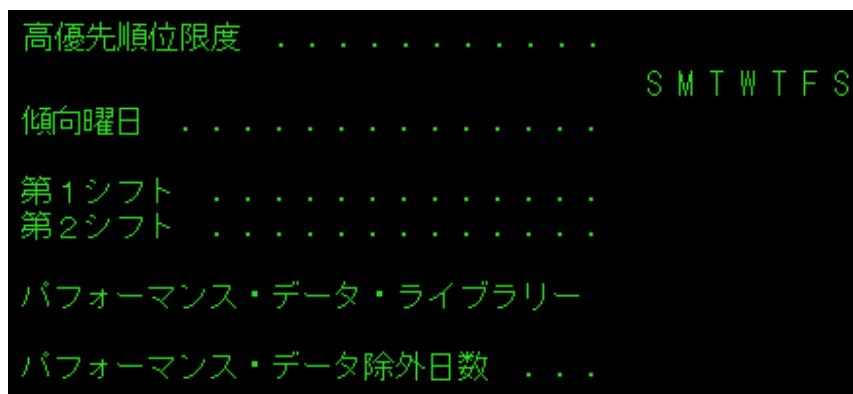
各々のジョブの機能は、以下のとおりです。

ジョブ名	頻度	説明
Q1PTEST	導入時のみ	導入成功のメッセージを QSYSOPR に送信します。
Q1PPMSUB	1 時間ごと	データ収集サービスをサブミットします。
Q1PPMCHK	4 時間ごと	データ収集サービスが開始されているかどうかチェックします。開始されていない場合、QSYSOPR にメッセージを送信します。
Q1PDR	1 日ごと	収集データを送信用データに変換後、収集データを削除します。
Q1PCM1*1	1 週間ごと	データを弊社に送信します。
Q1PCM2	1 日ごと	データ送信に使用する回線 Q1PLIN がオンに構成変更だった場合、オフに構成変更します。
Q1PMONTH	1 月ごと	Q1PCM1 と同じく、データを弊社に送信します。
Q1PPG	1 月ごと	送信用データを削除します。
Q1PCM4	設定による	遠隔システムからのデータをこのシステムに転送します。遠隔システムの登録(6 ページ)を行なった場合、このジョブが追加されます。

\*1 サービス・エージェントが導入されている場合、サービス・エージェントのデータ送信機能を用いるため、状況は I=Inactive となっております。

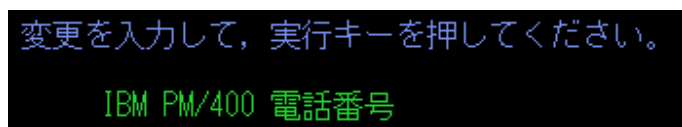
### 3. PM/400 カスタマイズの処理

メニューの 3. を選択しますと、設定一覧画面が表示されます。



パラメーター	機能
高優先順位限度	高優先順位ジョブと低優先順位ジョブの境界となる優先順位を定義します。省略値:20
傾向曜日	傾向予測に使用する曜日を定義します。 S=Sunday(日)、M=Monday(月)・・・、S=Saturday(土)
第1シフト 第2シフト	グラフに表示する時間帯を定義します。 省略値:(第1シフト)8:00~17:30/(第2シフト)17:30~7:59
パフォーマンス・データ・ライブラリー	収集したデータを保存するライブラリーを指定します。 省略値:QMPGDATA
パフォーマンス・データ除外日数	収集したデータの保存日数です。 省略値:0(当日分のみ保存、それ以前のデータは削除)

次ページキーで、次画面へ移動します。



パラメーター	機能
IBM PM/400 電話番号	接続電話番号*1を入力します。

\*1 2007/06 現在、接続電話番号は 0362208861 です。

このフィールドへの入力値一覧

弊社外付けモデム*2		内線発信(ゼロ発信の場合)		ZYXEL モデム	
トーン	パルス	トーン	パルス	トーン	パルス
SST0362208861	SSP0362208861	SST00362208861	SSP00362208861	T0362208861	P0362208861

\*2 内蔵モデムは対応していません。内蔵モデムをご利用の場合は、サービス・エージェントの導入が必要となります。

## 4. 上位 10 個からの除外処理

メニューの 4. を選択しますと、設定一覧画面が表示されます。

次の 1 つを選択してください。

1. 上位 10 個から除外するジョブの入力
2. 上位 10 個から除外するユーザーの入力
3. 上位 10 個から除外する通信回線の入力

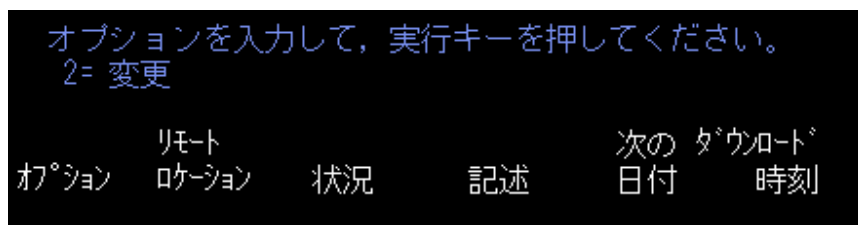
PM for System i 有料レポートには、上位 10 個のジョブ、ユーザー、通信回線(例. ユーザー別トランザクション数、ジョブ別 CPU 使用時間など)を表示するページがあります。

例えば、弊社提供のユーザー・プロファイル QSECOFR, QPGMR 等をこの上位 10 個から除外したい場合、あるいは自動開始ジョブをこの上位 10 個から除外したい場合は、ここで登録をお願いいたします。総称名(例. Q\*など)を使用することも可能です。

- 特定のジョブを上位 10 個から除外したい場合は、1. を
  - 特定のユーザーを上位 10 個から除外したい場合は、2. を
  - 特定の通信回線を上位 10 個から除外したい場合は、3. を
- それぞれ選択してください。

## 5. リモート ISERIES システムの処理

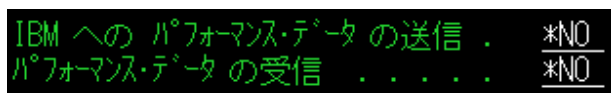
メニューの 5. を選択しますと、遠隔システムの登録画面が表示されます。



注) この機能を使用する場合、以下の前提条件を満たす必要があります。

1. 当該システムと遠隔システムが LAN 等で接続されており、互いのシステムでパススルー(コマンド: STRPASTHR)によりサインオン可能であること。
2. 遠隔システムから当該システムにデータ転送を行なうにあたり、コマンド CFGPM400 で下記の設定が完了していること。

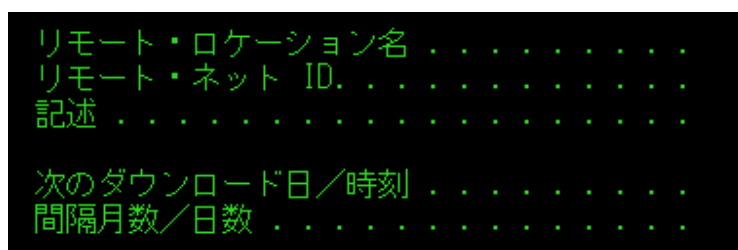
【遠隔システム】



【当該システム】



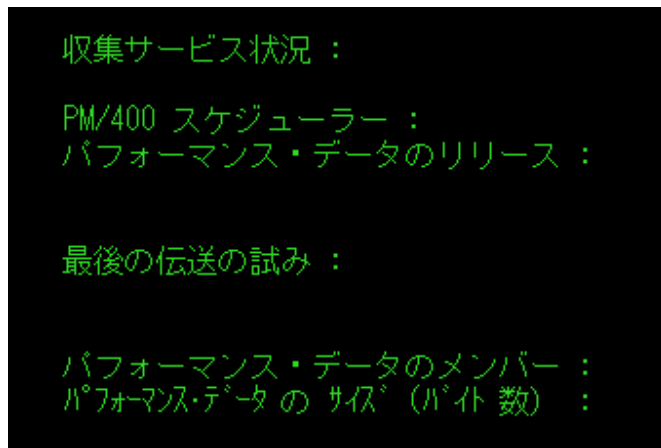
F6(作成)キーを押して、遠隔システムを新規追加します。



パラメーター	説明
リモート・ロケーション名	遠隔システムの画面上で表示されるローカル・ロケーション名 コマンド: DSPNETA の「省略時のローカル・ロケーション」
リモート・ネット ID	遠隔システムの画面上で表示されるローカル・ネット ID コマンド: DSPNETA の「ローカル・ネット ID」
記述	遠隔システムの説明を定義します(任意)。
次のダウンロード日/時刻	次のデータ転送日時を定義します。
間隔月数/日数	データ転送の間隔を定義します。省略値: 7 日

## 6. PM/400 状況の表示

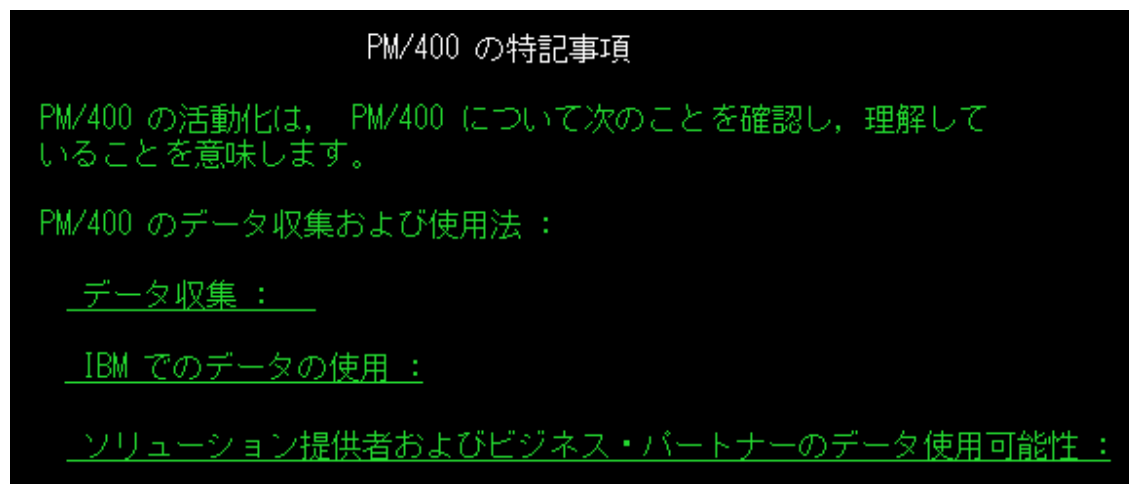
メニューの 6. を選択しますと、PM for System i の稼働状況が表示されます。



パラメーター	説明
収集サービス状況	収集サービス*1が「活動」か「非活動」かを表示します。 *1 コマンド WRKACTJOB SBS(QSYSWRK)で表示されるジョブ CRTPFRTDA と QYPSPFRCOL の 2 つが対象です。
PM/400 スケジューラー	PM/400 スケジューラー*2が「活動」か「非活動」かを表示します。 *2 コマンド WRKACTJOB SBS(QSYSWRK)で表示されるジョブ Q1PSCH が対象です。
パフォーマンス・データのリリース	収集データのバージョン・リリースを表示します。
最後の伝送の試み	データ送信ジョブが稼働した最新日時を表示します。
パフォーマンス・データのメンバー	収集データのメンバー数を表示します。
パフォーマンス・データのサイズ	収集データのサイズ(単位:バイト)を表示します。

## 7. PM/400 の特記事項の表示

メニューの 7. を選択しますと、特記事項の内容が表示されます。



PM/400 の特記事項

PM/400 の活動化は、PM/400 について次のことを確認し、理解していることを意味します。

PM/400 のデータ収集および使用法：

- [データ収集：](#)
- [IBM でのデータの使用：](#)
- [ソリューション提供者およびビジネス・パートナーのデータ使用可能性：](#)

詳細については各項目をご参照ください。